

平成29年度認定事業概要(4件)

○畜産バイオマス[上士幌町(十勝)]

【計画内容】

- ・地域エネルギー会社を新たに設立し、畜産農家の電力使用をコントロールする畜産版エネルギーマネジメントシステムを導入
- ・大規模家畜ふん尿バイオガスプラント整備により、酪農家や一般住宅、事業所へ電気供給、乳牛の哺育・育成センターなどへ熱供給

○地熱[弟子屈町(釧路)]

【計画内容】

- ・町民や町内の企業等が出資・参画する地域エネルギー会社を設立し、地域の地熱資源を一括管理するとともに、新たな活用を推進
- ・新たに地熱井を掘削し、市街地でバイナリー発電を行い、公共施設に電気を供給
- ・発電時の熱水を暖房用に供給した後、一般住宅等の浴用向けに活用するなど、地熱を有効活用

○スマート街区・木質バイオマス・雪氷冷熱[南富良野町(上川)]

【計画内容】

- ・地域エネルギー会社を新たに設立し電気・熱を供給するとともに、エネルギーマネジメントシステムにより、街区(道の駅、住宅、ポテトチップス工場、農業ハウス等)の電気・熱の最適利用を図る
- ・電気・熱は木質バイオマス(台風による流木・林地残材)、LNG、雪氷冷熱の3つのエネルギー(「トリエネ」)を利用して、木質バイナリー発電やガスコージェネレーションにより供給

○風力・水素利用[稚内市(宗谷)]

【計画内容】

- ・市が所有する風力発電設備のFIT期間終了後を見すえ、発電した電気を、北電の送配電網を活用し、遠隔地にある複数の公共施設の間で最適に利用するエネルギーマネジメントシステムを構築・運用
- ・発電した電気を水素に変換し、水素ステーションや公共施設などでの活用を検討

平成30年度新規追加(1件)

H29年度認定事業とは異なるモデル性を有する事業に対して支援を実施。

- 補助率:定額(限度額は1億2千5百万円×事業年度)
- 補助期間:最長4カ年度
- エネルギー自給・地域循環の取組を促進するため、モデルとなる取組に対し支援
- 予算額:4年間で総額5億円

イメージ

※イメージにとらわれず、独創的な取り組みを募集します!

本道の地域特性に対応

市街地から
独立した
中小規模集落

離島

観光・
リゾート地

地域課題の解決に寄与

EVを活用した 地域づくり

- ・蓄電池としての活用(ピークカット・ピークシフト、非常用電源)
- ・カーシェアリング等

災害に強い 地域づくり

- ・防災拠点への燃料電池・新エネ設備等導入
- ・災害時に新エネを調達・融通するシステム構築等

福祉・生活サービスと連動した 地域づくり

- ・HEMSを活用した高齢者見守りサービス
- ・ITを活用したデマンドバス等

地域産業への活用

- ・漁業・水産加工施設等への冷熱供給
- ・小規模工場・商業施設・ホテル等への熱電供給等

地域における新エネルギー導入の
更なる加速へ!!